

# 令和4年産減・減夢つくし

(5月13日 播種)  
(6月5日 田植え)

# 栽培暦

北九州普及指導センター  
J A 北 九

月別	4			5			6			7			8			9		
	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬		
水管理																		
生育ステージ																		
管理のポイント	<p><b>種子消毒 (温湯消毒)</b> 60℃10分</p> <p>●レンゲ・菜の花鋤き込み</p> <p>リン酸・苦土の補給に リンスタ130 30kg</p> <p><b>&lt;基肥&gt; (一発肥料)</b> 有機エムコート256 60kg または 新スーパーユキくん1号 4.0kg</p> <p>●中干し 溝切り</p> <p><b>&lt;追肥&gt; スーパーユキくん3号 35kg</b></p> <p><b>最も水が必要な時期</b></p> <p>○土づくり (ヒメトビウんカ対策) ○収穫後早めの耕起 ○落水はなるべく遅く</p> <p>堆肥投入 又は アツミンの投入 2t 40kg ミネラルG 200kg</p> <p>倒伏防止・病害虫対策に、けい酸加里の使用をお勧めします。 基肥時40kg又は、中干し時20kg</p>																	
病害虫	<p>ばか苗病、いもち病、ごま葉枯病、シンガレセンチュウ</p> <p>苗立枯病、白カビ</p> <p>イネミズゾウムシ、葉いもち・ウンカ</p> <p>スクミリンゴカイ</p> <p>葉いもち</p> <p>縞葉枯病、ヒメトビウんカ</p> <p>穂首いもち、ウンカ類、紋枯病</p> <p>カメムシ</p> <p>《特徴》 ☆ 夢つくしはいもち病に弱いので、いもち病の常発地や野菜後等での栽培は避ける。 ☆ 倒れやすい傾向にあるので、過剰施肥にならないよう注意する。 ☆ 穂発芽しにくい。 ☆ 食味が良い。</p>																	
防除農薬	<p><b>種子消毒 温湯消毒</b> ●種子消毒</p> <p>※浸漬後しっかりと風乾させ、 ※少量の水でのり状に練り、 規定水量と混合</p> <p><b>箱剤</b> 防人箱粒剤</p> <p><b>初中期一発除草剤</b> ガンガンジャンボ ※移植後落水・田面の均一化 ガンガン豆つぶ 250 ガンガン1キロ粒剤 スクミンバイト3</p> <p>※昨年縞葉枯病の発生圃場は ※病斑が確認された場合は防除 ※発生が無い圃場確認 ※野菜後や高温多雨時は注意</p> <p><b>必須①</b> 粉剤: ダブルカットレボン粉剤3DL 液剤: ダブルカットレボンEW</p> <p><b>必須②</b> カメムシ剤: スタークル豆つぶ、アルバリン顆粒水溶剤、アルバリン粉剤DL ※出穂後の畦畔除草はしない</p> <p>《注意事項》 ☆ 稲の開花期防除については、ミツバチへの影響が考えられますので、散布時期にご注意願います。 ☆ 散布時期 必須①は、出穂前に散布願います。必須②は、出穂10日頃が散布基準となります。 ※ 開花直前から開花後2週間は、ミツバチへの影響回避の為、農薬の散布をしない！ 農薬散布時はドリフトに注意する！</p>																	
成分数	<p>① ③ ② ② ② ① ② ① ① ① ① ① ① ① ① ①</p> <p>左の成分数の合計が10成分以下</p>																	